

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 03-01-01	事務事業名 防災行政無線の整備	所管部課 危機管理室 危機管理室
-------------------	--------------------	------------------------

施策コード 安2-1	施策名 災害に強いまちづくり	施策目標 市民の生命や財産を守るため、防災基盤の整備を計画的に進め、災害に強い安全・安心なまちづくりをめざします。
---------------	-------------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	災害時において、円滑な情報伝達手段を確保する。	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	防災行政無線は、同報系、移動系、地域防災系の3種類がある。同報系は、災害時等に市内73か所ある子局から市民の皆様へ情報を伝達する手段であり、平成16年度にデジタル化した。移動系は、災害時等に職員間の連絡に使用する。災害現場等での連絡を想定しており、アナログ電波での運用である。地域防災系は、災害時等に市役所と避難所になっている各公共施設間及び災害対応従事車両等の連絡及び消防団の通信手段に使用する。平成22年度にデジタル化した。(予算：9.1.5.1災害対策事業費)	
	事業開始時期	13 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		22,602	17,577	10,629	46,412
財源内訳	千円	国庫支出金・都支出金	0	0	0
地方債		0	0	0	
その他 ( )		0	0	0	
一般財源		22,602	17,577	10,629	46,412
所要人員(B)	人	0.3	0.3	0.5	0.3
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	2,450	2,424	4,040	2,450
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	25,052	20,001	14,669	48,862
単位当たりコスト (E)=(D)/(同報系子局の数)	千円	343	274	198	660

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
① 同報系子局の数	実績値 箇所	73	73	74	74
② 避難所、二次避難所への設置率	実績値 %	98.6	98.6	100	100
《指標の説明・数値変化の理由 など》 避難所、二次避難所70箇所のうち1箇所未整備だったが、平成22年度のデジタル化の際に無線機器を設置して100%となった。					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一次	目標値				
	実績値				
二次	目標値				
	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	同報系について、3月11日の震災後の計画停電時等の放送時において「聞こえない」等の苦情が多く寄せられた。他市においても同様の事例が起きていていると聞いている。
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 各市整備している。同報系子局の各市の整備状況は、1k㎡当たり26市平均3.6局。西東京市は4.6局で26市中第5位。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 災害時の市民への情報提供ツールとしては、防災行政無線(同報系)、ホームページ、広報車、J-c o m、FM西東京がある。

事業コード 03-01-01	事務事業名 防災行政無線の整備	所管部課 危機管理室 危機管理室
-------------------	-----------------	------------------------

施策コード 安2-1	施策名 災害に強いまちづくり	施策目標 市民の生命や財産を守るため、防災基盤の整備を計画的に進め、災害に強い安全・安心なまちづくりをめざします。
---------------	-------------------	--

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	3	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	地域防災系については、平成22年度にデジタル化を行い、その際、避難所、二次避難所等の防災拠点に無線機器の更新設置をした。今後は、新たな防災拠点が設置された際に整備を進める予定。移動系については、アナログ機器だが当面継続使用と考えている。また、同報系については、市民からの「聞えない」との苦情等に対応するため、設計図を基にご指摘を受けた住所との比較・分析を実施しているところである。今後、ホームページ、広報車、J-c o mのデータ放送、FM西東京を活用しての情報提供の充実について検討します。また、メール配信等のその他の通信手段についても調査・研究をしていきたい。
	事業の必要性	3		
	事業主体の妥当性	3		
B	直接のサービスの相手方の相手方	3		
	事業内容等の適切さ	2		
	受益者負担の適切さ	3		
C	市民ニーズの把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	3	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	同報系無線については、「聞こえない・聞き取りづらい。」などの状況の改善に向けた対応を図る一方、メール配信など新たな情報伝達手段についても積極的に調査・研究を行い、有事の際に円滑な情報の伝達ができるよう環境を整備されたい。
	事業の必要性	3		
	事業主体の妥当性	3		
B	直接のサービスの相手方の相手方	3		
	事業内容等の適切さ	2		
	受益者負担の適切さ	3		
C	市民ニーズの把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	防災行政無線は、災害時における情報伝達手段として必要不可欠であり、これまで同報系・移動系・地域防災系の各無線を計画的に整備してきたところである。しかし、同報系無線については、本年3月の大震災発生以降、市民から多数の改善要望が寄せられており、対応が必要である。 また、無線以外の他の手段の活用についても検討し、複数のツールを併用することで円滑な情報伝達を可能とする環境整備に努められたい。